

# 国際金融関連企業は どのように社員のコンプライアンス教育を改革したか

1

## 背景

ある大手金融関連企業では、機密情報の保護、市場での公正な競争、金融犯罪への対処など 15の領域で自社行動規範を世界中の全従業員が遵守するよう、受講必須の研修コースを制作しました。

同社がこれまで使用してきた行動規範コースでは、テーマごとに総合的な内容を盛り込んだ紙の資料が提供されていましたが、教材の内容と体裁は3年間ほとんど更新されていませんでした。受講者の受講疲労とともに、コースに対する従業員の取り組み姿勢や満足度に関する課題が生じていたため、コンプライアンス教育の変革を行うことになりました。

2

## 課題

2020年、世界中に支店を持つ大手金融企業からトムソン・ロイターに、行動規範に関するインタラクティブな再教育コース制作の依頼がありました。その目的は、同社のコンプライアンス文化に対する社員の関心を高めることでした。依頼書にはいくつか具体的な要望が明記されていました。受講者が何ページにもおよぶグループの方針やファクトシートを読むような、標準的なコースを同社は望んでいませんでした。この教育コースが採用されるためには、会社の厳格なガイドラインを満たし、幾度にも及ぶ関係者の決済を通過する必要があります。また実際に提供する際には、6カ国語対応でアクセス可能な形式が求められました。

ある大手金融機関は、社員のコンプライアンス意識を高めるために  
行動規範に関するインタラクティブな再教育コースを求めています。。

## 提案と解決

同社の既存のコース内容を慎重に検討し、関係者の要望をヒアリングし、同社の教育プログラム担当チームと緊密に協力したうえで、同社従業員の行動規範の採用と、実施を強化するための革新的な教育アプローチを提案しました。

15の重要領域それぞれに記載されている情報を「必ず知っておくべき情報」「知っておいた方がよい情報」「知っていれば素晴らしいに分類される情報」に3分類しました。トムソン・ロイターの再教育コースの専門チームは、グループ行動規範の内の「必ず知っておくべき情報」と「知っておいた方がよい情報」に焦点をあて、研修を行うことにしました。

同社は、受講時間を以前の半分の20分に短縮し、15領域それぞれの重要メッセージを共有できるよう文字ではなく双方向の映像を使用するよう推奨したトムソン・ロイターの案を採用しました。

コースにはオプションで受けられる追加学習も設けられました。「知っていれば素晴らしい」に分類される情報は、受講時に参照される複数ページのインフォグラフィックとしてまとめられています。

また、重要メッセージの詳細を載せたファクトシートも、金融機関のイントラネット上に共有し、受講中に参照できるようにしました。学習プログラムの受講後、1領域1問ずつ選ばれた15問から成る確認テストを受けます。各問題は、想定される職場でのジレンマ事例を示し、受講者はそれに対する対応を選択します。その後解答が示され、グループの方針を明確に解説したフィードバックにより回答を補足します。

合格点については、双方の決定により、グローバル金融機関の行動規範を全社員が理解できるよう100点としました。合格点に達した受講者は全員、コース受講修了証をダウンロードする前にグループ行動規範の順守を改めて確認することが義務付けられています。

80~99点だった受講者は、改善すべき重要点を示す画面が表れ、インフォグラフィックとファクトシートを見直すよう促されます。その後、間違えた問題に対して追試を受け、全問正解を目指します。80点未満だった受講者は、テストをもう一度最初から受け直すよう求められます。



## 成果

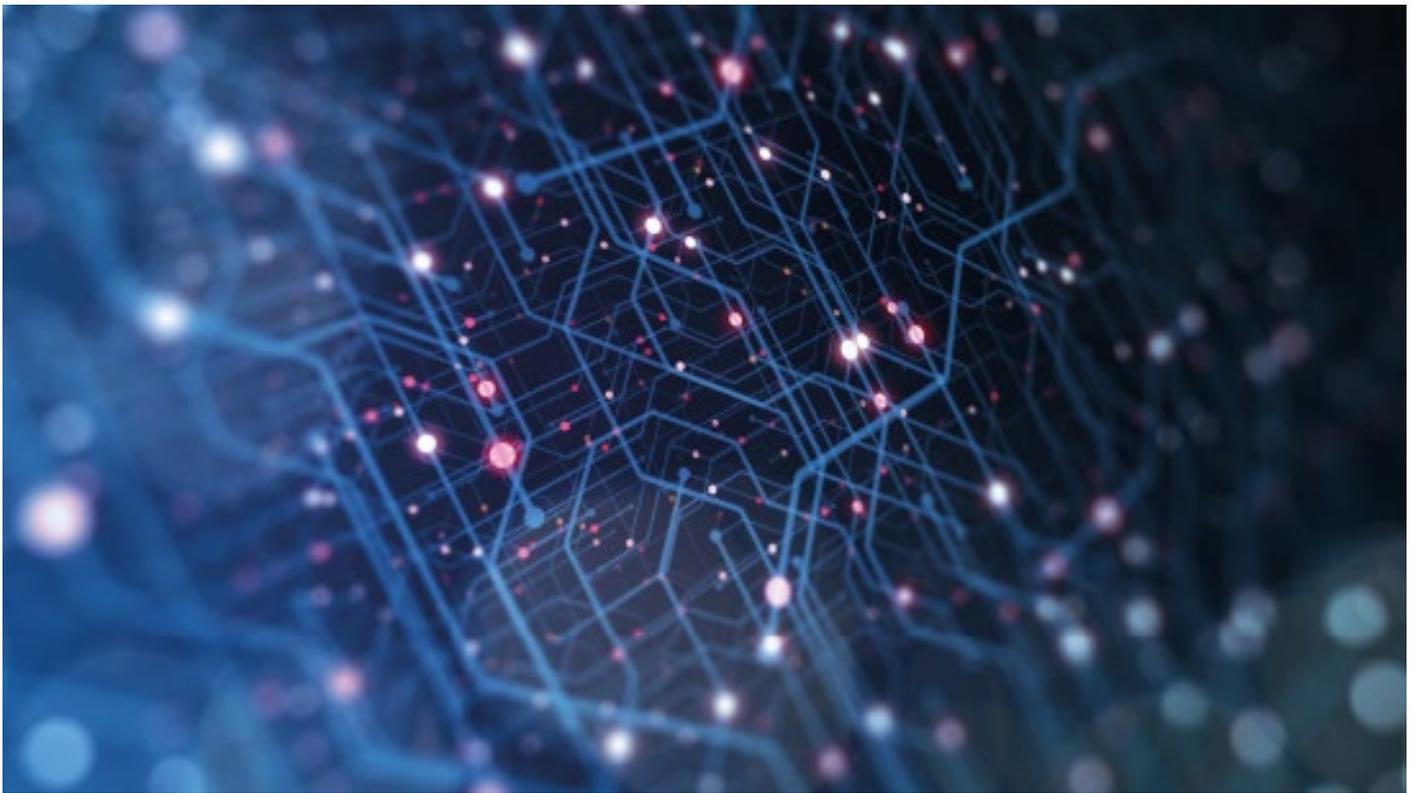
社内ガイドラインに準拠して関係者により承認された行動規範プログラムは、海外も含め金融機関の全支店に導入されました。推奨コースは組織の目的に合致しているだけでなく、明確な評価方法を採用し、さらに使いやすさに優れているとのご意見を関係者からいただきました。

従業員の皆様からも、「明快で要領を得ている」「包括的で関連性があり、よく考えられている」等の意見をいただいています。受講者からは、リアルタイムのシナリオに対しても、銀行の日常業務に関連した実践的な内容との評価をいただきました。

2020年12月には、この大手グローバル金融機関向けに制作した学習プログラムが評価され、トムソン・ロイターはレギュレーション・アジアの「コンプライアンス・プロバイダー・オブ・ザ・イヤー」を受賞しました。レギュレーション・アジアは、この行動規範コースを「包括的かつ、説明方法や、プログラム構成、内容の流れ、受講者エンゲージメントがユニーク」と評価しました。

さらに同団体は、重要な行動規範に関する従業員の理解と順守を促進させる実践的な業務シナリオを含め、インタラクティブでカスタマイズ可能な学習プログラムである点も高く評価しました。

従業員の皆様からも、「**明快で要領を得ている**」  
「**包括的で関連性があり、よく考えられている**」等の意見をいただいています。



## トムソン・ロイターについて

トムソン・ロイターは、世界中の企業・専門家に向け最新情報を提供し、業界を先導しています。弊社のコンプライアンス・ラーニングは、コンプライアンス違反リスクを軽減するために、カスタマイズ可能な研修プログラムを提供しています。1000を超える規制当局の動きを把握し、世界中と意見交換をすることにより、最新の法律や規制を反映したコンプライアンス教育コースを提供しており、複雑化した社会でも自信を持って対応できるようサポートしています。

トムソン・ロイターのコースカタログには、マネーロンダリング防止、テロ資金対策、現代の奴隷制、情報セキュリティ対策、リスク管理など、あらゆる分野が様々なレベルで網羅されており、カスタマイズも自在に行えます。25カ国語以上に対応しているコースは、実践的でインタラクティブ、さらにカスタマイズ可能で、さまざまなプラットフォーム上で利用できます。各プログラムには、受講者が関連性から学び、理解を深めるために、厳選されたケーススタディとともに、執行事例、ニュース記事、ビジネス関連シナリオ等が盛り込まれており、研修内容の定着もサポートしています。

## お問い合わせ

トムソン・ロイターのコンプライアンスラーニング・ソリューションは、グローバルな規制環境に対応し、コンプライアンス文化の構築、コンプライアンス教育をサポートいたします。現在のビジネス環境に必要なコンプライアンス研修をお選びください。詳細な説明、デモのご希望はお気軽にご相談ください。

お問い合わせ：[marketingjp@thomsonreuters.com](mailto:marketingjp@thomsonreuters.com)